

## 令和4年度第2回富山市入札監視委員会 審議概要

日 時	令和4年8月23日（火）午後1時30分から
場 所	富山市役所議会棟8階 第3委員会室
委 員 (委員数5名) 出 席 5名	委員長 古 田 俊 吉 (富山大学名誉教授) 委 員 大 石 貴 之 (弁護士) 委 員 金 山 睦 美 (税理士) 委 員 佐 藤 綾 子 (富山国際大学教授) 委 員 前 澤 保 (元富山市財務部長)
次 第	1 開会 2 審議 ・富山市の入札・契約手続及び運用状況 ・抽出案件の審議 3 審議結果のまとめ 4 閉会
対 象 期 間	令和3年10月1日から令和4年3月31日まで
抽 出 案 件 (落札率)	11件 (対象案件件数 469件) ① 学校 ICT 機器購入 (97.44%) ② 富山市民病院統合生理検査システム導入事業機器等 (100%) ③ 物流管理等システム仮想基盤搭載等改修業務委託 (100%) ④ 貯蔵品購入費 (医薬品の購入) (100%) ⑤ 富山地域可燃物及び不燃物収集運搬業務 (その3) (99.93%) ⑥ 富山市住民税非課税世帯等に対する臨時特別給付金給付業務に係る業務委託 (68.60%) ⑦ 中規模ホール建設に係る汚染土処理業務 (その1) (100%) ⑧ 富山市キャッシュレス決済ポイント還元事業業務委託 (92.00%) ⑨ 農林水産物をもっと！楽しモーキャンペーン実施業務委託 (100%) ⑩ 富山市科学博物館プラネタリウム更新業務 (100%) ⑪ 共通仮想基盤機器等賃貸借 (リース) (93.67%)
審 議 の 概 要	別紙のとおり
委 員 会 の 意 見	審査対象期間の物品購入等、業務委託及び賃貸借に係る入札・契約事務については、概ね適正に行われていたと判断する。

別 紙

審議の概要

審議 1 富山市の入札・契約手続及び運用状況

契約制度全般に関する資料について

- I 富山市の物品購入（修繕）及び業務委託等の入札・契約制度
- II 入札・契約事務の改善
- III 指名停止等の運用状況
- IV 入札・契約方式別の件数及び落札率

<質疑>

1 点目は、公募併用型指名競争入札の一覧において、防災対策課が発注したNo.52（避難所用品ファミリールーム購入）、No.53（避難場所への災害用備蓄物資ポータブル蓄電池購入）、No.54（災害用備蓄物資（災害救助用毛布ほか6点）購入）について、契約の相手方が同じ事業者（株式会社カワノ）である背景を教えてください。

2 点目は、この事業者が指名停止措置を受けていますが、その取扱を聞きたい。

3 点目は、随意契約の一覧について、No.5（文化国際課発注の中規模ホール建設に係る汚染土処理業務（その2））やNo.36（公営競技事務所発注の令和3年度富山市宮松阪競輪ミッドナイト競輪開催業務委託）など契約金額の高額なものの価格の妥当性についてどのように評価していますか。

<回答>

1 点目の質問については、入札案件を事前に公募し、受注意欲のある事業者を指名する公募併用型指名競争入札を採用し、複数者が応札した結果、株式会社カワノが最低価格で落札しました。

2 点目の質問については、株式会社カワノの指名停止期間外（同社取締役が関わる官製談合事件が報道される前の入札）のため、入札を執行しました。

3 点目の質問については、No.5は、平成25年度に実施した速星小学校の改築に係る敷地造成工事の汚染土処理業務の単価を参考にしたものです。また、No.36については、令和2年度に京都向日町競輪場が松阪競輪場を借り上げたときの委託料に、コロナ対策費50万円程度を加算した金額で契約を結んでいます。

<質疑>

指名停止前であるから入札を執行したということですが、指名停止理由である石川県（能美市）の（官製談合）事件を受けて、富山市でも問題はなかったか検証されたのですか。

<回答>

（事業者から事件のいきさつについて説明を受けているものの、本市の契約案件とは関わりがない事案のため、）そのような検証はしていません。

審議 2 令和3年度下半期分抽出案件の審議

- ① 案件名：学校 ICT 機器購入  
担当課：教育センター

<説明>
<質疑> <p>予定価格が高額な案件で、ほとんどの事業者が辞退した理由について把握していますか。</p>
<回答> <p>指名した12者のうち10者が辞退した主な理由として、予定価格や納期限内の履行が困難なため、と聞いています。</p>
<質疑> <p>厳しい予算査定のもと、予定価格を積算されたのではないですか。</p>
<回答> <p>自社で見積りし、予定価格を下回ることができなかつたと回答をいただいています。予定価格が低すぎるといふ声は、伺っていません。</p>
<質疑> <p>機器の仕様を詳細まで指定した上で価格競争したのですか。それとも見積した機器の内容についても評価しているのですか。</p>
<回答> <p>仕様を決めて発注していますので価格のみの競争です。</p>
<質疑> <p>ノートパソコン等を学校で使用するに当たり、メンテナンスの期間はどのようにしているのですか。また、今後更新に当たり、随意契約で更新する予定とし今回発注されたのでしょうか。</p>
<回答> <p>今回発注したこれらの機器は、コロナウイルス感染症の流行下でも、学校でなるべく学びをとめないよう、各学校からの希望調査で決定しています。  メンテナンス（のような保守契約）は、一切行っていません。しかし、今回の契約業者には、修理等を依頼することはあると思うので、その都度契約することとしています。取扱機種によっては、業者が限定されることもあるかもしれませんが、それを見据えた発注ではありません。</p>
② 案件名：富山市民病院統合生理検査システム導入事業機器等 担当課：病院事業局 経営管理課
<説明>
<質疑> <p>選考委員はどのように選ばれるのですか。市民病院で使用する機器のため、外部の方を選考委員に全く選ばないのですか。</p>
<回答> <p>実際に医療現場で使う機器であることから、現場を熟知し医療知識を持った医療職が選考委員となった方が、ヒアリングの質疑も踏まえて、より確かなものを導入できるのではないかと考え、このような選考委員の構成としたものです。</p>
<質疑>

選考委員全員が内部の委員のため、内部事情を把握されている。その上で選考委員の中には（市民病院の医療情報やシステム全体を）統括等されている職員も含まれ、卓越した見識をもっているということですね。

そのこと自体に問題はないのですが、選考のプロセスと実際の選考において、公正性が確保されているかどうかは、また別問題です。公正性を確保するためには、やはり外部の方を委員にすることで、実質的な担保を取る必要があると思います。

もう一つ、議事録等がしっかり作成されて、公開されているのか聞かせてください。

**<回答>**

プロポーザルで外部委員を必置とする見直しを行ったのは、令和4年4月1日以降にプロポーザルで事業者を選考するものからです。今回の審議対象は令和3年度下半期の案件のため、この時点では外部委員を必置とするというルールは設けていませんでした。

議事録の件については、公開はしていません。

**<意見>**

（プロポーザルの運用について）非常に改善がなされて、結構な事だと思います。やはり、税金を投入し業務を行っている以上、公正性と透明性が担保されないといけない。外部による監視機能を果たさなければならないし、内部的にも監視機能をもっていないといけないと思い、意見を述べました。

**③ 案件名：物流管理等システム仮想基盤搭載等改修業務委託**

担当課：病院事業局 経営管理課

**<説明>**

**<質疑>**

契約金額について、これまでに契約した金額との比較や、例えば他社の場合に想定される、いわゆる市場価格など、価格の妥当性について説明してください。

**<回答>**

この業務の履行に当たり、できるだけ標準パッケージのシステムを導入し、カスタマイズをしないよう、多岐にわたる関係部署と業務量の見直しなどの検討や調整にかなりの時間を費やしました。特命随意契約のため、委員の指摘にあるような他社との価格比較等は行っていません。

**④ 案件名：貯蔵品購入費（医薬品の購入）**

担当課：病院事業局 契約出納課

**<説明>**

**<質疑>**

随意契約の理由に、医薬品全体の6割以上の取扱いが可能であることと記載されていますが、そのような事業者は株式会社スズケンだけだったのですか。

**<回答>**

プロポーザルを実施した段階では、2者から提案があり、2者とも（市民病院が

使用する医薬品全体の) 6割以上を取り扱うことができるとして提案をいただきました。

<質疑>

その中で、株式会社スズケンを選んだ理由を聞かせてください。

<回答>

物流体制や人数、災害時の対応、さらには、(医薬品の) 値引き率を評価したものであります。

<要望>

株式会社スズケンが、随意契約の対象となった経緯であるプロポーザルの評価が(資料に) 掲載されていないので、これは掲載する必要があるのではないかと思います。

<質疑>

(市民病院が使用する医薬品全体の) 6割以上取り扱うことができるという条件に関連し、今回の単価契約する医薬品について、病院が求める全てを株式会社スズケンに調達可能ということですか。

<回答>

プロポーザルで選定した事業者との契約期間は3年間ですが、薬価は毎年改定され、(院内で使用する) 医薬品も(毎月少しずつ) 変わります。

このプロポーザルは平成25年度から3年毎に実施しているものであり、当時市民病院が採用していた医薬品の品目数は1,700余でした。

プロポーザルを経て、最初の単価契約では、その品目通りの数を、このように見積りし、契約を締結します。(市民病院では、使用する医薬品を新たに採用する場合、同様の効能・効果を有しこれまで使用してきた医薬品を採用品目から外すこととしており、) 次年度以降は、(市民病院で使用しなくなった) 医薬品を減じていくこととなります。このため、実際には924品目にまで減っています。

しかし、(市民病院が、治療等に必要な品目数は) 全体で1,700余であることに変わりはないため、減少した分は、株式会社スズケンを含む5社ほどの卸業者と見積り合わせを行っています。

<質疑>

毎年薬価が改定され、病院で使用する医薬品も変更する中で、基本的な取扱いなど(契約事務の) 手順を教えてください。

<回答>

全国自治体病院共済会等のベンチマークを活用しています。全国平均や北信越地区における平均のほか、民間又は公的病院、病床数、等々幾つかベンチマークを持っています。このプロポーザルを実施する際にも当然そのベンチマークを参考に、幾つかの比較表を作って、委員の方に示しています。実際、医薬品の品目一つ一つに薬価がありますので、値引き率も全て見えています。そこで、総額にした場合、例えば今期で言えば値引き率は大体14%程度でありました。一品ごとに値引き率を見ると、少ないもので1桁ですが大きいもので16%もあります。

<p>10月1日に下半期の契約を締結するため、3か月ほど前に出たベンチマークを参考にしています。</p>
<p><b>&lt;意見&gt;</b></p> <p>互いが持つ知識や情報を、役職に関わらず共有することが、税金を投入し有効に執行する上で、非常に重要な役割を果たしていると思います。一部の職員だけがその手続に携わっていると、場合によっては問題が生じることもあり得ます。</p>
<p><b>⑤ 案件名：富山地域可燃物及び不燃物収集運搬業務（その3）</b>  <b>担当課：環境センター管理課</b></p>
<p><b>&lt;説明&gt;</b></p>
<p><b>&lt;質疑&gt;</b></p> <p>入札経過調書を見ると、僅差で落札し、指名競争入札の一覧を見ると、（その1）から（その4）までを木村産業株式会社、クリーン産業株式会社、株式会社石橋、そして株式会社アイカワが1件ずつ落札するように分かれています。これは偶然ですか。</p>
<p><b>&lt;回答&gt;</b></p> <p>（その1）から（その4）までの入札を同時に執行しています。入札の執行に当たってはジョーカーズアウト、いわゆるババ抜きといった制度を適用しています。（その3）が一番予定価格が高い案件のため、これを最初に開札し、落札した木村産業株式会社は、その後の入札には参加できません。（これを繰り返すと）徐々に入札参加者が減っていくこととなるため、委員が資料をご覧になられた時に、きれいに業者が分かれているという印象を持たれたのだと思います。</p>
<p><b>&lt;質疑&gt;</b></p> <p>指名業者選定理由について、入札参加資格を有する事業者16者に対し5者を選定したと記載がありますが、どのように選定をされたのでしょうか。</p>
<p><b>&lt;回答&gt;</b></p> <p>あらかじめ事業規模を提示し、それに見合う車両を保有しているか、余剰の能力があるかなど、事前に調査し、実際にこの業務を請け負うことが可能か意向も調査した上で選定しています。</p>
<p><b>&lt;質疑&gt;</b></p> <p>入札に参加する意向を持つ事業者が、この5者以外にいた場合、どのように説明するのですか。</p>
<p><b>&lt;回答&gt;</b></p> <p>業務内容について、エリアや実際の車両、人数も含めて具体的に示した説明会を事業者を対象に実施しています。このような説明会を2回実施した上で、各事業者に対し受託可能か聞き取りを行った結果、（手を挙げたのが）5者だったものです。このことについては、他の事業者からも理解をいただいているものと思います。</p>
<p><b>&lt;質疑&gt;</b></p> <p>今回の審議は、4契約のうち（その3）を対象としていますが、（その3）で指</p>

<p>名対象にならなかった事業者は、他の3つの契約で指名対象になるなど関連性はありますか。</p>
<p><b>&lt;回答&gt;</b></p> <p>事業者に対し事前調査なり、意向を聞き取りするときには（その1）や（その2）など個別に聞き取りをしている訳ではなく、（その1）から（その4）までを一体的に聞き取りした上で5者を選定しています。実際の入札はその4つの契約について、選定された5者を対象に先程説明のあったババ抜き方式で執行しています。</p>
<p><b>&lt;質疑&gt;</b></p> <p>業務量については、例えば家庭数や人数のほか、可燃物や不燃物のごみの量が（これまでの実績から）算出できますね。また、正月明けなど連休明けは、ごみの量が多いなど傾向も分かります。したがって地域割を行うと。それから搬入する焼却場までの距離と、必要な車両の台数や人数は物理的に算出できますね。</p> <p>事業者に地区別に区割をし、収集するごみの量や必要な車両の台数を説明し、履行できるか意向を確認した上で入札を執行したということですね。また、同時に複数の地区を受託することは難しいので、収集する地区を分担する必要性が生じてくる訳ですね。</p>
<p><b>&lt;回答&gt;</b></p> <p>東西南北など収集エリアを分けて、業務量もある程度調整しながら4つに分けています。</p>
<p><b>&lt;質疑&gt;</b></p> <p>工事と違って、毎日毎週欠かさずごみの収集運搬を行わなければならないため、履行业者も分ける必要があるということですよ。</p>
<p><b>&lt;回答&gt;</b></p> <p>1者が全て受託することは、それだけの能力が求められるため困難であると考えています。</p>
<p><b>⑥ 案件名：富山市住民税非課税世帯等に対する臨時特別給付金給付業務に係る業務委託</b></p> <p><b>担当課：福祉政策課</b></p>
<p><b>&lt;説明&gt;</b></p>
<p><b>&lt;質疑&gt;</b></p> <p>この案件については、情報管理や申請書類の審査など、一定の専門知識が必要と感じました。業者選定理由に許認可の有無とありますが、どのような事業者を選定しているのですか。</p> <p>また、こちらの事業者については、情報管理や申請書類の審査などの専門知識をどのように評価しているのですか。</p>
<p><b>&lt;回答&gt;</b></p> <p>許認可と記載がありますが、具体的な資格や経験は定めていません。情報の取扱いについては、十分注意を払う必要があることから、契約を締結後に私どもが</p>

ら研修の機会を設け徹底しているところであります。いわゆる受付業務又は人材派遣業務などを請け負うことができる事業者であることを求めたいがために業者選定理由に記載したものです。

<質疑>

2点質問です。落札率が68.1%と非常に低いのですが、理由がありましたら教えてください。

また、この業務を履行するに当たって、すべて株式会社JTB富山支店（以下「JTB」と記す。）が担うのか、それとも再委託をしているのか、教えてください。

<回答>

予定価格の積算については、令和2年度にJTBが受託した他部局の給付金業務の実績を参考に、JTBに見積りを依頼し、いただいた金額をもとに、対象となる期間を考慮し、重点的に人数が必要な期間、要するに申請書を送って案内し始めてすぐに多くの人数が必要となるのかなど、精査した金額を予定価格としたもの（であり、落札率が非常に低いことについては、応札した事業者の考えによるもの）です。

また、JTBが人員を確保しているため、再委託はしていません。

<質疑>

一旦（そのような業務を）受託すれば、事務の進め方などのノウハウがある程度得られるのですか。

<回答>

今回の業務は、主にコールセンターにおける問合せへの電話応対、申請書を受け付けて正しい届出がされているかのチェック、窓口に来られる方に対して実際に質問に答えたり、或いは申請書の書き方を教えたりするもので、そのような業務は一通り慣れていただければ、ノウハウが蓄積されると思います。

<質疑>

9者は辞退している。その理由はわかりますか。

<回答>

人員確保が困難であること、予定価格の範囲内での履行が困難であることが辞退理由であると伺っています。

⑦ 案件名：中規模ホール建設に係る汚染土処理業務（その1）

担当課：文化国際課

<説明>

<質疑>

業務を履行できる事業者が2者しかなく、業務を（その1）と（その2）に分けて、それぞれ随意契約を締結しています。（その1）が株式会社富山環境整備で、（その2）は株式会社アイザックと契約したのですが、どのような理由でこれらの事業者が決まったのですか。

<回答>



<p>汚染土処理の可能量については、株式会社富山環境整備の処理量の方が大きいことから、まずは株式会社富山環境整備に期間内の最大処理可能量を聞き取りし、残りを株式会社アイザックに依頼したものです。</p>
<p>&lt;質疑&gt;</p> <p>(その2)の株式会社アイザックも特に異存なく、承諾されたのですか。</p>
<p>&lt;回答&gt;</p> <p>株式会社アイザックも特に異存はありませんでした。</p>
<p>&lt;質疑&gt;</p> <p>具体的に2者間の処理能力の差はどれだけあるのですか。株式会社富山環境整備は、この資料によると、6,825 m<sup>3</sup>が最大処理能力と記載されています。</p>
<p>&lt;回答&gt;</p> <p>それぞれの事業者の埋め立て可能量によるものです。株式会社富山環境整備は、約897万m<sup>3</sup>。一方の株式会社アイザックは、約653万m<sup>3</sup>であり、このように埋め立て可能量(の違い)によるものです。</p>
<p><b>⑧ 案件名：富山市キャッシュレス決済ポイント還元事業業務委託</b>  <b>担当課：商業労政課</b></p>
<p>&lt;説明&gt;</p>
<p>&lt;質疑&gt;</p> <p>事業の発案者はどなたなのか、その意思決定プロセスを聞きたい。誰が発案して、どのような調整過程を経て、選考委員会でプロポーザルを行い事業者を選定するに至ったのですか。</p>
<p>&lt;回答&gt;</p> <p>この事業については、第2弾のキャッシュレス決済ポイント還元事業であり、既に第1弾を前年度に実施していました。担当課が事業を発案し、実施しました。</p>
<p>&lt;質疑&gt;</p> <p>219,437,880円から211,587,937円に変更契約した経緯について教えてください。</p> <p>次に、提案書評価採点表について、このA社、B社、C社と、どのようにどこが評価されたのか聞きたい。内訳があった方が透明性高いと考えますので、大枠だけでも評価を教えてください。</p>
<p>&lt;回答&gt;</p> <p>変更契約の理由としては、ポイントを還元した費用に依拠しているためであり、ポイントを還元しなければ、その分を減額する契約です。ポイント還元額の実績に応じて減額し、原資が減ったため、決済事務手数料3%も連動して減額したものです。</p> <p>評価の内容については、別紙提案書評価採点表のとおりです。</p>
<p><b>⑨ 案件名：農林水産物をもっと！楽しモーキャンペーン実施業務委託</b>  <b>担当課：農政企画課</b></p>
<p>&lt;説明&gt;</p>

<p>&lt;質疑&gt;</p> <p>精算方式の業務ですが、業務そのものの評価をどのようにしましたか。</p>
<p>&lt;回答&gt;</p> <p>事業者に対しては、第1弾で細かなトラブルがあったと聞いていますが、それ以降は対応もしっかり行っていただき、事業者の登録店についても、第1弾である程度ネットワークを作り、いろいろな店を開拓していただいていたものと評価しています。利用者の立場に立てば、クーポンを利用できる店舗が多い方が（利便性が高まり）クーポンの利用率も高まります。</p> <p>市としては、第1弾の事業の経験を活かし、（構築した民間事業者間の）ネットワークに、新たに開拓した店舗を追加するなど（クーポンの利用率を高める工夫を）事業者が担っていただけるものと確信して（この事業を）行っています。</p>
<p>&lt;質疑&gt;</p> <p>クーポン 15,000 式を全て使い切ったのですか。</p>
<p>&lt;回答&gt;</p> <p>執行率は 77.1%で、（クーポンを取得した市民の方が）全部を使い切ったものではありません。しかし、その前年に実施した第1弾の執行率が 61.0%であるのに対し、第2弾では 77.1%と向上していることから、同じ事業者がこのキャンペーン事業を行ったことによって、有意な効果があったと考えています。</p>
<p>⑩ 案件名：富山市科学博物館プラネタリウム更新業務 担当課：科学博物館総務課</p>
<p>&lt;説明&gt;</p> <p>&lt;意見&gt;</p> <p>外部の選考委員が2名います。透明性を確保していることは非常に評価できると思います。</p> <p>プロポーザルの選考結果を見ますと、委員の評価が選考に関して非常に影響力を持つことがわかります。外部委員を入れるということ、どのような評価がなされたかということは、やはり公表する必要があるだろうと思います。非常に透明性と公正性を確保された上でプロポーザルを実施しているので、高く評価できると思います。</p> <p>今後とも、意思決定に当たり、透明性と公正性を確保し、かつ実効性が上がるようにしていただきたいと思います。</p>
<p>⑪ 案件名：共通仮想基盤機器等賃貸借（リース） 担当課：情報システム課</p>
<p>&lt;説明&gt;</p> <p>&lt;質疑&gt;</p> <p>リース契約は、どの事業者も同じ（機器を賃貸するという）条件を前提として入札しているのですか。</p>
<p>&lt;回答&gt;</p> <p>金額以外は同じ条件で入札を執行しています。</p>

**<質疑>**

5年契約の機器の更新ですが、リース契約終了後はどのような計画を持っていますか。

**<回答>**

(データの移行や環境の構築など) 更新作業については、特定の事業者と契約することになりますが、実際に使用する機器は汎用機器を利用しているため、機器の(納入者を定める)入札を指名競争入札で行っています。

(リース期間が終了する) 5年後には、その時の最新の機器等の構成を考えた上で、機器については指名競争入札、更新の作業については特命随意契約を考えています。

**<審議結果のまとめ>**

抽出した11件の案件について、説明を受け、審議してきましたが、令和3年度下半期の物品購入等、業務委託及び賃貸借の入札・契約については概ね適正に行われていたといえると思います。

**<閉会>**